

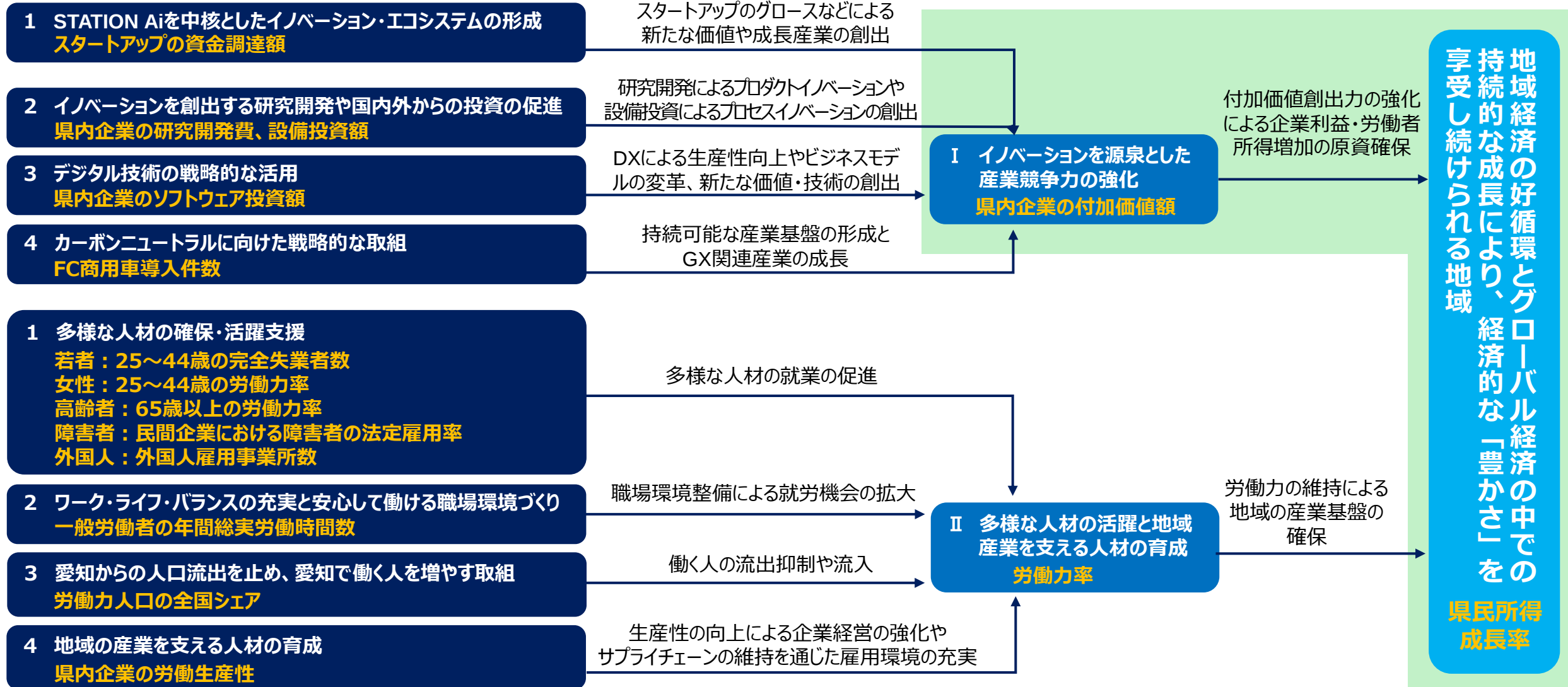
あいち経済労働ビジョン2026-2030における指標とロジックツリー

(凡例) 黒字：上位指標へのロジック
黄字：用いる指標（案）

【取組の方向性】

【5つの政策】

【目指すべき姿】



【取組の方向性】

【5つの政策】

【目指すべき姿】

1 国際的なパートナーシップ構築によるイノベーション・ハブの形成
海外とのパートナーシップによるプログラムへの参加者数

2 インバウンド需要の獲得・産業交流の促進
外国人延べ宿泊者数

3 グローバル市場への展開支援
輸出額の対製造品出荷額等比率

1 自動車産業の構造転換への対応
自動車産業の付加価値額、売上高設備投資比率、
売上高付加価値比率（従業員2,000人以下）

2 航空宇宙産業、ロボット産業の振興
中部地域の航空機・部品の生産額
ロボット製造業の製造品出荷額等

3 観光関連産業の振興
観光消費額

4 成長著しいデジタル関連企業を始めとする高付加価値な
第三次産業等の振興・誘致
高付加価値第三次産業等の付加価値額

1 稼ぐ力を支える経営基盤の強化
中小企業の売上高付加価値比率

2 経営環境の変化への対応と既存ビジネスの進化を通じた稼ぐ力の向上
中小企業の労働生産性

3 スケールアップを目指す企業への支援
従業員100名以上の企業割合

4 地域社会に根差した事業者への支援
地場産業、卸・小売・サービス業（中小企業）の付加価値額

5 中小企業の自立的成長を支える伴走支援体制の強化
支援機関向け研修等の受講者数

国際的な交流拡大によるイノベーション
創造力や国際ビジネスの機会の増大

旺盛な海外の消費需要の取り込み

海外需要の取り込みによる
輸出の拡大・収益基盤の強化

自動車産業の持続的な成長と構造転換を踏まえた
将来への投資や中堅・中小企業の稼ぐ力の維持・向上

自動車産業に次ぐ、第2、第3の柱としての
航空宇宙産業とロボット産業の拡大

観光消費額の拡大による
観光関連産業の成長

高付加価値産業の成長による
収益獲得と所得の域外漏出の低減

中小企業の収益力の向上

労働者1人あたりもしくは
単位時間当たりの付加価値額の増

中小企業のスケールアップによる
収益力の強化

地域の地場産業や
商業・サービス業の活性化

中小企業の経営課題解決に向けた
支援人材の高度化

Ⅲ 地域経済の活力を生み出す
「世界と大交流する愛知」づくり
県の財・サービス輸出額

Ⅳ 愛知の未来を牽引する
産業の進化と成長の加速
牽引産業の付加価値額

Ⅴ 中小・小規模企業の
稼ぐ力の向上
中小企業の付加価値額

海外の成長の取り込みによる
県内経済の拡大

県民所得の創出を
牽引する産業群の成長

県内付加価値額の約6割
を占める中小企業の
付加価値額の増大

地域経済の好循環とグローバル経済の中での持続的な
成長により、経済的な「豊かさ」を享受し続けられる地域
県民所得成長率

指標の設定方法（例）

5つの政策

イノベーションを源泉とした
国際的な産業競争力の強化



目指す姿

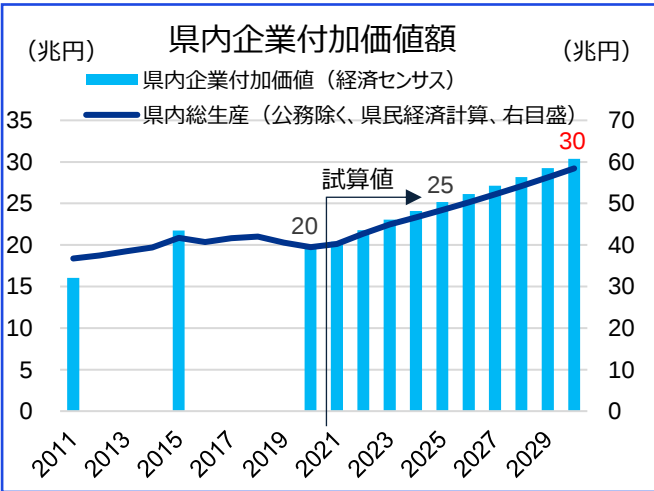
地域経済の好循環と
グローバル経済の中での持続的な成長により
経済的な「豊かさ」を享受し続けられる地域

KPI：県内企業付加価値額

直近値：20兆円（2020年）
現状値：25兆円（2025年（推計））
目標値：30兆円（2030年）

目標値の設定方法（推移予測の考え方）

・右記の県内所得成長率の前提となる県内総生産の推移から、
経済センサスベースの県内企業付加価値額の推移を試算。

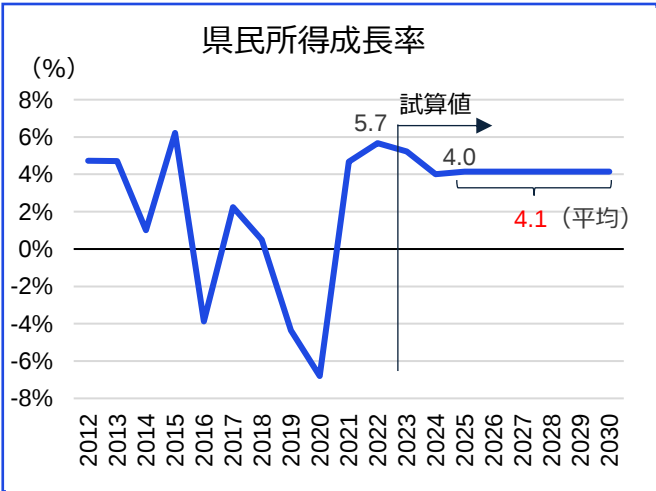


KPI：県民所得成長率

直近値：5.7 %（2022年度）
現状値：4.0 %（2025年度（推計））
目標値：4.1 %（2025～30年度平均）

目標値の設定方法（推移予測の考え方）

・県内総生産3.8%成長（物価上昇率2% + 実質県内総生産1.8%成長）と
県民所得比率の緩やかな改善見込み（2022年度66.4%→2030年度68%）
により試算。



推移予測のベースとなる経済成長の規模感

- ・経済財政運営の指針（骨太方針）で閣議決定された2040年度名目GDP1,000兆円目標
- ・上記をベースに試算した2030年度の県内総生産のGDPシェア8%程度（現状7.5%強）